

平成29年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

視点	3年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評 価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒の資質・能力を向上させる教育課程編成と大学進学等の進路希望を実現させる学習指導及び授業改善に組織的に取り組む。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動の促進や自己肯定感・連帯感の涵養を図る。また、自己の個性を生かしつつ、他者を尊重し、協働する態度を育てる。</p>	<p>①生徒の資質・能力の向上や進路希望を実現させるための適切な教育課程の編成と学習指導及び対話的・主体的で深い学びの視点をふまえた授業改善に組織的に取り組む。</p>	<p>①1) 教育課程編成について、生徒の進路意識調査の結果をもとに、教科・系列等関係部署と連携を密にしながら、より適切なものを編成する。</p> <p>①2) 学習指導について、基礎・基本の定着を図るとともに、補習・講習等を通して発展的な学習の機会をより多く提供する。</p> <p>①3) 教科の枠を越えた小グループで、対話的・主体的で深い学びを支える授業について研究する。また、その成果を学校全体で共有する。</p>	<p>①1) 生徒の進路希望の実現につながる、教育課程の編成及び運用ができたか。</p> <p>①2) 補習・講習等を含め、発展的な学習の機会を提供することができたか。(補習・講習の開講数・受講生徒数)</p> <p>①3) 学校全体で組織的に授業改善に取り組むことができたか。(研究協議の開催数)</p>					
2 生徒指導 ・支援	<p>①規範意識を涵養し、規律ある態度を育成する。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。</p> <p>③部活動の活性化を図り、生徒の充実感や達成感による、自己肯定感・責任感・協調性の涵養を図る。</p>	<p>①規範意識を涵養し、規律ある態度を育成する。</p> <p>②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。</p> <p>③部活動の活性化を図るとともに、部活動を通じて自己肯定感や責任感及び規範意識や協調性を養う。</p>	<p>① 校内・校外におけるルールとマナーの重要性をいろいろな機会を設けて徹底を図る。頭髪・服装指導について日常生活の組織的な指導を行う。</p> <p>②生徒の情報を共有化し、ケース会議などを適宜開催して組織的に支援を行う。</p> <p>③部活動オリエンテーションや部活動紹介・体験入部などのプログラムを通じて、入部しやすい環境を設定する。</p>	<p>①ルールとマナーを守り、規範意識が向上したか。</p> <p>②ケース会議等を適切に開催し解決に向かわせることができたか。</p> <p>③入部率を上げることができたか。2年次以上の生徒の部活動定着率を維持することができたか。</p>					

3	進路指導・支援	進路への自覚を深め、社会的に自立することをめざし、生徒一人ひとりの可能性を高め、広げる進路指導を展開する。	1) 自己啓発活動の活性化の一助となるよう、仕事のまなび場、インターンシップへの参加者数を増やしていく。 2) 単位制普通科としての進路支援の体制を強化する。	1) 生徒に対して、十分な事前説明と広報を行い、高い意識を持たせて参加させる。 2) 単位制普通科としての進路支援について、キャリア支援グループとして強化すべきことや他のグループと連携できることを継続的に検討していく。	1) 仕事のまなび場、インターンシップへの参加者数が増えたか。 2) 普通科について3年間を見通した計画を策定し、実行できたか。					
4	地域等との協働	地域の教育力を活用した教育活動を推進する。また、本校の教育活動を積極的に発信し、地域へ貢献する活動を行う。	生徒の自己肯定感を高める取組を推進し、また学校の魅力を発信することによって、地域に信頼される学校づくりを実行する。	1) 学校説明会で本校の単位制普通科とその特徴について、生徒スタッフの活躍の場を設け、中学生やその保護者、地域に向けて発信する。 2) ホームページによって、本校の教育活動を円滑に発信できるよう校内環境を整備していく。	1) 学校説明会で本校の特色を効果的に伝えることができたか。(アンケート) 2) ホームページの円滑な更新に向け、校内環境の整備ができたか。(ホームページの更新月3~4回以上)					
5	学校管理 学校運営	①安全・安心な学校環境や学習環境の整備を進める。 ②すべての職員が教育環境の変化に迅速に、また、グループ・年次の枠を越えて、チーム一丸となって課題に対応する学校文化を形成する。 ③事故・不祥事の防止を徹底し、地域から信頼される学校づくりに努める。	①1) 災害時の安全対策の充実を図り、生徒の防災意識を高める教育・訓練を実施する。また、 ①2) 生徒の美化意識を高め、清掃活動を活性化する。 ②教育の課題について、教職員の意識を高める取組を行う。また、企画会議を活性化させる。	①1) 避難訓練を効果的に実施するとともに、喫食訓練や東日本大震災を風化させない取組を行う。また、災害備蓄品の充実を図る。 ①2) 校内美化については、普通科完成に向けて、放課後の清掃を励行し、ごみの分別やごみの投棄等規範意識を高める。 ②教育課程を検討する組織を立ち上げ、教育課題について共有化し、解決に向けては各グループ・年次の枠を越えて取り組む。	①1) 2回以上の避難訓練とHRにおいて喫食訓練、大規模災害に関するレクチャーを行ったか。災害備蓄品の整備が図られたか。 ①2) 週2回のごみ廃棄が徹底、したか。分別と清掃が適切に実行できたか。 ②教育課題解決に向けて、検討会議を開催し、検討事項について解決につなげることができたか。					